

KTK

# 京都ライトハウス通信

06年4月21日

No. 105

編集人 鈴木紘一 / 社会福祉法人 京都ライトハウス / 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11  
 代表番号 TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402 / 鳥居寮 TEL 075-463-6455 / 船岡寮 TEL 075-463-4649 FAX 075-467-2788  
 URL: http://www.kyoto-lighthouse.or.jp / E-mail: info@kyoto-lighthouse.or.jp  
 郵便局振替番号 (京都ライトハウス)01040-0-4470 (後援会)01090-3-9080 (運営資金寄付)00960-5-153295 / 1979年(昭和54年)8月15日創刊

## 第23回視覚障害者京都マラソン大会報告

3月5日(日)、まさに春を思わせる青空の下、第23回視覚障害者京都マラソン大会を西京極総合運動公園陸上競技場およびその周辺道路で開催いたしました。

この大会は『一度でいいから天下の公道を思い切り走りたい』という視覚障害者の願いを叶えるため、昭和59(1984)年、全国に先駆けて開催されました。全国的にも珍しい視覚障害者のみを対象としたロードレースで、パラリンピックの代表候補から健康維持のためのランナー、そして中途失明により走ることを諦めていた方までと大変幅広い参加者層を誇ります。また、13歳から73歳までという年齢層や、23回連続出場を含むリピーターが多いなど、全国の視覚障害者マラソン大会の中でも有数の歴史ある大会として定着しています。今回も、東は神奈川県、西は佐賀県から集った101人もものランナーが、ボランティアの伴走者とともに日頃の練習の成果をいかに発揮されました。

今回は、地元京都府出身で世界陸上メダリストの千葉真子選手を招待選手としてお招きし、1kmと10kmにおいてはスターター、3kmではゲストランナーとして参加していただきました。千葉選手には、一人一人に声を掛けながら一緒に走ることで、ランナーとのふれあいにご協力いただきました。

また、競技開始前に実施した『手引き体験会』には、近隣の小学校や少年野球チームから30人ももの児童が参加し、視覚障害者の正しい誘導方法を体験していただきました。

その他にも、立命館大学応援団吹奏楽部と京都市少年合唱団の皆さんには、開会式・閉会式での合唱や演奏で

### 各種目優勝者一覧

種目	ランナー氏名	ランナー所属	伴走者氏名	伴走者所属	記録
10km 男子弱視	三木 省三	パートナーズ	伊藤 直	洛南高校	39分20秒
10km 女子弱視	藤井 由美子	タイマーズ	渡邊 竜二	洛南高校	47分19秒
10km 男子全盲	松本 修郎	兵庫県	西尾 宗一郎	洛南高校	42分28秒
10km 女子全盲	酒元 直美	わーわーず	山崎 勝弘	個人	49分52秒
3km 男子弱視	可児 拓朗	岐阜盲	山村 敦司	さわやか会	13分01秒
3km 女子弱視	中條 與子	大阪府	宮崎 由紀子	東京都	17分11秒
3km 男子全盲	橋詰 伸明	岐阜盲	江口 悟	さわやか会	14分49秒
3km 女子全盲	井内 菜津美	東宇治高校	佐藤 芽衣	京都女子大	14分17秒
1km 男子弱視	初山 博志	タイマーズ	熊谷 拓磨	伏見工業高校	2分55秒(大会新)
1km 女子弱視	佐藤 智奈美	F S トモニー	玉木 知男	走ろう会	8分11秒
1km 男子全盲	村上 松夫	広島県	南橋 直哉	伏見工業高校	4分06秒
1km 女子全盲	内川 亜佑美	岐阜盲	武田 郁子	個人	4分41秒(大会新)

大会に花を添えていただき、この大会お馴染みの『うどんコーナー』では、京都府麺類飲食業生活衛生同業組合青年会の皆さんに温かいうどんをご提供いただきました。さらに、大会走路の沿道整理や走路監視では、右京区民生児童委員会障害者福祉部会の皆様など、多くのボランティアの方々にご協力いただきました。

このように、この大会は本当に多くの方々を支えています。今回も2種目で大会新記録が出るなど競技性も高まってきていますが、視覚に障害のある方であればどなたでも気軽に参加できるというこの大会の本来の目的と役割を忘れず、いつまでも皆さんに愛される大会であり続けられるよう努力して参りたいと思います。

最後になりましたが、この大会の趣旨をご理解いただき、多大なご協力を賜りました京都陸上競技協会をはじめとする関係団体およびボランティアの方々、そして何より、大会運営を含め物心両面にわたるご支援を頂戴しました株式会社わかさ生活様に心より感謝申し上げます。盛会裏に終了したことをお伝えし、報告とさせていただきます。





# 「自立支援法」スタート



## I 制度変更の概要

既にご承知の通り、「自立支援法」では障害者福祉サービスが、「自立支援給付」と「地域生活支援事業」とに大きく分けられています。「自立支援給付」とは国庫の義務的経費で行われる個別給付事業、「地域生活支援事業」とは市町村(一部は都道府県)が実施主体となる事業で、国はそれを裁量の経費で補助し、予算が上限に達しても国は補正予算を組まない仕組みです。

「自立支援給付」には、①介護給付(ホームヘルプサービスのような重度障害者に対する介護サービスが含まれます。「あいあい教室」は児童デイサービスとして位置付けられます。「らくらく」は「生活介護」部分に重度者が事業移行することが考えられています。)②訓練等給付(生活訓練や「トモニー」が移行する部分です。生活訓練は自立訓練—機能訓練—に、「トモニー」は就労移行支援や就労継続支援などへの移行が考えられています。)③自立支援医療(更生医療や育成医療—現行の市町村事業の「障害者福祉医療」は対象外—などが該当します。)④補装具(白杖や眼鏡—色眼鏡は除外—義眼が含まれ、これまでの点字器は日常生活用具に移行されます。)等が含まれます。

「地域生活支援事業」には、①相談支援事業、②コミュニケーション支援事業(手話通訳・要約筆記派遣事業)、③移動支援事業(現在の視覚・知的障害者ガイドヘルパー派遣事業)、④地域活動支援センター(現在の共同作業所や身障・知的デイサービスの一部など)、⑤日常生活用具給付事業、⑥その他の事業(生活サポート事業、福祉・盲人ホーム、情報支援等事業、社会参加促進事業など)が含まれます。

## II 当面の課題

厚生労働省はこの法の特色として、3障害一元化、就労支援の抜本的強化、支給決定の透明化・明確化などを強調しています。

課題の第1は、京都ライトハウスがこの間視覚障害者の総合福祉施設として発展し、2004年4月の竣工後デイサービスや通所授産施設の2事業を加え、「障害者の総合施設」としてグレードアップされたばかりです。にもかかわらず今回の法律では、「デイサービス」や「授産」などの名称が別の事業体系に再編されたのをはじめ、中途視覚障害者の社会参加と自立を支援する入所施設「鳥居寮」の位置付けが極めて厳しい状況に置かれた点です。国は施設入所者を5年間で7%以上減らすことを目標に自宅などで生活するのに必要なサービスを提供していく方向性を強めようとしています。新法では、これまでの昼間と夜間を一体として実施してきた生活訓練を「日中活動」と「夜間の居住支援」と

に事業体系を大別して実施しようとしています。これは訓練に要する費用負担に加えて、食費と光熱水費を含めて高額な負担増になることで、経済的に不安定な時期の中途視覚障害者のリハビリテーションを受ける機会をさえも脅かす重要な問題です。

第2には、「原則1割負担」の裏打として障害者の就労支援の抜本的強化を謳っているにもかかわらず、来年度の国の予算では、結果的には障害者雇用対策費は前年度比マイナス2.4%となっていることに強い懸念と今後の取り組みへの不安を感じています。いずれにしても、雇用・就労問題が行き詰まり、他の障害者と比較しても低所得層の多い視覚障害者の所得保障と併せた福祉施策の展開が求められます。

第3には、支給決定の透明化・明確化の具体策として設けられた全国共通の利用ルール(支援の必要度を判定する客観的基準)と支給決定のプロセスが提示されたことです。支援の必要度に関する客観的な尺度として「障害程度区分」が設定され、審査会の意見聴取など支給決定のプロセスができたことは評価に値する前進です。しかし、特別な介護を必要としない単一視覚障害者の場合、「要介護認定」を指標にした「障害程度区分」だけでは、視覚障害による情報障害の程度や移動支援の必要度、それに日常生活場面での適切な介助支援までは、評価し得ない限界があります。障害種別の特性と固有のニーズを反映した検討の必要性を感じています。そのためにも、当事者団体や施設が率先して障害特性を反映した事業展開やサービスを推進して行かなければなりません。視覚障害のある全ての利用者が安心して利用していただくことのできる京都ライトハウスを目標に、相談支援事業者の認可や相談からそれぞれの事業・サービスの利用への拡充を目指した「総合施設機能の整備」が今こそ大切な時となっています。

点訳サービス・点字図書出版

有限会社 オフィス **リエゾン**

視覚障害者手帳をお持ちの人は点字図書が原本価格で購入できます。

出版総目録(墨字・点字)を無料でお送りします。  
外国語・楽譜・立体コピー作図なども点訳しています。  
お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0774-56-3907

E-mail: liaison@kk.ij4u.or.jp

ホームページ: <http://liaison.ne.jp>

〒610-0121 城陽市寺田市ノ久保2-63





い作品展を開催しました。地域の小学生が作ってくれた点字用紙製の「鳥」たちも会場で羽ばたいていました。



**F S トモニー**

**点字用紙リサイクルコンペ 2005 年作品展開催**

不用になった点字用紙に創造性とアイデアを吹き込み再生しようというイベントを、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)が開催したところ全国から多くの応募があり、このたびそれらの作品のお披露目が京都ライトハウスで行われました。

F S トモニーの利用者とボランティアが SCCJ のスタッフと一緒に授産製品の開発を進めようと知恵を出し合う中で今回の「点字用紙リサイクルコンペ 2005」を企画しました。前例がない取り組みなので、企画内容や呼びかけ方法など手探り状態でした。京都を中心に主な美大などにポスターを配布するなどの努力が実を結び、昨年暮れには 80 を超える応募が全国から寄せられました。その中から優秀な作品には賞が贈られました。

大賞は京都の鈴木智子さんの作品『やわらかな風・光・つぶ』です。5cm角の四角形の点字用紙がハワイの「レイ」のように繋がれ、それらが6段に積み重なっています。ガソリンスタンドにある洗車機のブラシのイメージです。その中に手をいれるとなんともおもしろい感触を得られます。

その他に点字の凹凸をうまく生かした「付箋紙」やパーティーで遊んでもらえそうな「紙吹雪」、点字用紙の重なりで陰影を表したランプシェード等々。作品の詳細については SCCJ の「ユメチエ」のサイトをご覧ください (<http://yumetier.net>)

その作品を皆様に見て頂きたいと、去る3月19日の「ユニバーサルデザインの展開PART II」としてライトハウスにて開催されたフォーラムに便乗させてもら

**鳥 居 寮**

**外壁等を改修した鳥居寮をご利用ください**

鳥居寮は開設以来、多くの方に白杖歩行・コミュニケーション訓練などの生活訓練でご利用いただいています。この鳥居寮の建物も開設後 24 年が経過し、全般的な改修の必要性がでていました。何年か前より雨漏りのする箇所があるとか、ベランダのコンクリ手摺りに剥離部分があるなどがおこっていました。視覚障害者のリハビリテーション施設は全国でも数が少なく、今後、継続して事業をしていくためには、今、是非とも修繕を行いたいと助成をお願いしていましたが、財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より助成決定を昨年 10 月にいただきました。おかげさまで念願の外壁改修と屋上防水補修工事等を今年 1、2 月で実施し、無事に工事を完了することができました。外壁は少し黄味がかかった土色で、新築と見違えるようにきれいになっています。

鳥居寮の事業にご理解、ご協力いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。

また、鳥居寮で訓練を受けた方は 3 月に 2005 年度の修了式を迎え、生活訓練部と合わせて今年度は 30 人程度の方が修了されます。京都在住の方はもちろん、滋賀県、大阪府、広島県、愛知県などの方もご利用い

**消防設備・設計・施工・監理**

**その他消防用品販売**



**近畿報知機株式会社**

京都市右京区嵯峨野嵯峨ノ段町 1 の 17

電話 (075) 881-2738 番(代)

FAX (075) 881-8188 番

永年の信用・まごころのご奉仕

葬祭センター

**公益社**

本社/京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000

フリーダイヤル ☎0120-00-4200

◆ 葬儀式場 ◆

公益社北フライトホール(堀川黎明)京都市北区黎明通堀川東入 ☎(075)414-0420

公益社中央フライトホール(五条大和大路)京都市東山区五条通大和大路 ☎(075)551-5555

公益社南フライトホール(堀川八条)京都市南区堀川通八条下ル西側 ☎(075)662-0042

公益社西フライトホール(五条西大路)京都市右京区五条通西大路西入ル南側 ☎(075)322-0042

公益社宇治フライトホール(宇治横島)宇治市横島町(文教大学前) ☎(0774)20-0042

公益社滋賀フライトホール(大津)大津市朝日が丘1丁目 ☎(077)523-0042

ただいています。1年程度で新しく訓練を受ける方を受け入れますが、今後とも大切に使用し、充実した訓練内容が提供できるように努めてまいります。

### 船岡寮 節分

2月3日は節分でした。

昼食は、いわしの塩焼き、巻き寿司、いなり寿司、そしてかす汁で、とてもおいしく食べました。また、お盆の端に小さな袋に入った豆もついていました。(ちなみに、船岡寮の最高齢者は98歳の女性です。その次は、91歳の女性と男性の方がおられます。)

そして夕方、船岡寮では年男、年女の利用者の方々が各階に分かれての豆まきです。華頂短期大学の実習生の方と一緒に、船岡寮の玄関や西側の非常口、また、ベランダなどから、豆を手にいっばいつかんで投げつけるようにまきます。

最初は、「豆まきなんて何年ぶりやろ、小さい時はしたけど、いややわ」とか言われていた方も、豆をまきだすと「福は内、鬼は外」と大変元気の良い声が響きわたりました。

また、各階の利用者の皆さんのお部屋を訪問して、福豆を配っていただきました。

「今年も元気で。はい、福豆です。」と言いながら、少しずつですが豆を配ってまわります。「節分の時しか炒豆って食べへんけど、結構おいしいなあ」とか言いながら、ポリポリ豆を食べました。今年も、これで一年が無事にすごせます。



### 情報ステーション 第35回 利用者・ボランティアのつどい開催

さる3月2日に、「第35回 利用者・ボランティアのつどい」を開催いたしました。今回は、元点字図書館館長の上村邦夫さんの「故・鳥居篤治郎先生と京都ライトハウス」と題してご講演いただき、100人を超える方々が上村さんの話に聞き入りました。日本盲人会連合の2代目会長として活躍されていた鳥居篤治郎先

生が、様々な壁を乗り越えて京都ライトハウスを設立されていったこと、その後の京都市交通局病院の建物を使用できるようになるまでのご苦労などを、緻密な資料も作成されて話され、心暖まるエピソードと上村さんのユーモアに会場は明るい雰囲気にも包まれていました。

今回は情報のボランティアのみなさんによるミニバザーも同日に開催し、小ちんまりとした中で多くの利用者の方々がゆったりと買い物を楽しんでおられたのが印象的でした。収益金234,295円は、ボランティアが切望されている読み方などの調査資料費に充てられます。



### らくらく 素敵な応援団が増えました。

らくらくでは、多くのボランティアの方々に日中の活動を援助していただいておりますが、また、素敵な応援団が増えました。

お一人は理髪サービスをしていただくことになりました小野健史さんです。中京区の方で代々理容店を営まれているのですが、今回、ご縁が有ってらくらく(トモニーや鳥居寮も)利用の方々の理髪を丸一日、月1回のペースでお願いできることになりました。小野さんは「色々な方と出会いがあって自分も勉強になります」とおっしゃって、自前の用具を手に汗をかいて下

### こんな症状でお困りではないですか？

[・引越しや増改築、白蟻駆除などしてから気分が悪くなった  
・家にいるとなんとなく疲れやすい 等々]

3つの建材をバランスよく使った

◇ぜひ展示室で空気を体感してみませんか？

「**健やかづくり**」のシステム5法  
自然治癒力を高める健康な生活をご提案致します



竹炭入り **清活畳**  
天然の空気清浄塗りの壁材  
**幻の漆喰** しっくい  
うづくり健康フローリング  
**音響熟成木材**

☆まずはお気軽にお問い合わせ下さい☆

有限会社 **ケアライフシステム**  
京都市下京区中堂寺南町105  
GH五条701 (五条七本松東南角)  
TEL: 075-323-0330 FAX: 075-200-1034

新築やリフォームでも実感いただけます。

<http://www.CLS0333.com>

(6) 2006年(平成18年)4月21日  
さっています。

もうお一人は一夜咲(ひとよ・さき)さんです。1年前にCDを吹き込んだプロの歌手さんですが、スタッフと知己があってハウスを訪問いただき、素晴らしい歌のプレゼントをらくらくにいただきました。最初は「緊張した」とおっしゃってましたが、らくらくのメンバーとすぐにうち解けて賑やかで楽しいコンサートを繰り広げて下さいました。オリジナル曲はもちろん、リクエストに即興で応じてポピュラー曲も熱唱していただき本当に楽しいひとときを過ごせました。

どうぞ皆様これからも末永くご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。また、この記事を読んで「それなら私も」とお思いの方がいらっしゃいましたらどうぞご連絡いただければ幸いです。お待ちしております。



#### あいあい教室

#### 「楽只小学校との交流」

ライトハウス向かいの楽只小学校の1・2年生と、あいあいの4・5歳児のグループで交流会を行いました。楽只小学校では『視覚障害を知る』をテーマに色々な取り組みを行っており、今回の交流内容も小学生が考えたいとの事でした。そこで事前に学校側と打ち合わせを行い、あいあいの子どもの普段の様子をビデオに撮りました。しかしビデオだけでは視覚障害の子どもの理解は難しいので、職員が学校に出向き、「目をつぶって前に歩いてきてね。その時、どうしてもらおうと歩きやすいと思う?」「みんなは黒板の字が読めるね。でも〇〇ちゃんは1番前に座っても見えないんだよ。」等、1・2年生の身近な事柄で視覚障害について伝えたり、実際にその場で体験してもらいました。

交流当日、小学生はとても優しくあいあいの子ども達に声を掛けたり手をつないで一緒に遊んでくれました。また、目の見えない子も弱視の子も楽しめるようにと、鈴入りのカラフルにペイントした手作り楽器をプレゼントしてくれました。実際に接する中で視覚障害を持つ子も“一緒に遊ぶお友達”と身近に感じてくれた事が今後の視覚障害者への理解につながってい

くと思います。あいあいの子ども達にとっても、普段とは違う沢山のお兄さん、お姉さん達に囲まれ、話をしたり遊ぶ事は良い経験になったようで、初めは少し緊張していた顔が段々と嬉しそうな笑顔へと変わっていきました。楽しく触れ合えた一時となりました。



みんなでジャンケン列車をしたよ

#### 情報製作センター

#### 視覚障害者への情報提供を京都市に要望

京都市におかれましては、全国の他都市に先駆けて『点字市民しんぶん』を発行されたり、選挙公報の点字による情報提供など、視覚障害者の情報保障に積極的に取り組んで来られています。

今年2月に『京都市安心安全ハンドブック暮らしの救急箱』という冊子を発行され、各家庭に配布されました。「この冊子は視覚障害者にとっても非常に有益で重要な情報が掲載されている」ということで、早速、京都府視覚障害者協会と連名で「点字版」「録音版」の発行を京都市に要望しました。

京都市も私どもの要望を受けとめていただき、予算を確保すべく奔走していただきましたが、財政状況が厳しいこともあって、残念ながらテープ版(抜粋版)の発行にとどまりました。

これからもみなさんと一緒に市や府に要望していきたいと考えています。みなさんよろしくお願ひいたします。

## おしらせ

#### ■ユニバーサルデザインフォーラムの試み

京都ライトハウスの新築計画が本格的に動き出した2001年5月、「誰にも優しい安心・安全な建物の建設

を！」という願いを込めて「ユニバーサルデザイン検討会」が活動を開始しました。

2004年1月25日には、竣工したばかりの4階ホールで第1回目の「ユニバーサルデザインシンポジウム」を開催しました。建物の建設に当たっての利用者からの聞き取りや障害者のニーズを反映した建設計画の取り組みについて報告し、フロアからのご意見も頂戴しました。

今回、3月19日には、第2回目の催しとして、「ユニバーサルデザインフォーラム」を開催しました。これまでの取り組みを総括し、建築関係者、行政の方々、広く市民の皆様にも呼びかけ、私たちがこの建設に込めた願いと目的を紹介すると共に、これからの建築物や、町づくりについて考える場を設定しました。その中で、私たちは、弱視者に配慮した色彩計画の必要性、特別な設備ではなく「気軽でさりげない配慮や建設計画」の中でユニバーサルデザインの理念が実現されること、そして究極のバリアフリーは心のバリアを取除くことであって、互いに声をかけあえる社会が視覚障害者には何よりも優しい「ユニバーサルサービス」であるべきことを確認しました。今後とも、こうした取り組みを蓄積した施設から社会への情報発信を目指して取り組んで参りたいと思います。

最後に、実証実験やアンケートなど、この取り組みをご支援いただきました多くの方々に対し、深く御礼申し上げます。

## ■製作センターから特報！

### 京都府内の利用者の方への優待企画

情報製作センターでは、一人でも多くの方に点字に親しんでいただけるように、L点字教材の出版、京都を五感で楽しむ『Good・洛』の出版、点字システム手帳の出版、ドットテ일러事業などに取り組んできました。

また、京都府・京都市からの補助金を活用し、非常に安い視覚障害者料金を設定してきた所ですが、さらにみなさんとのつながりを広げ、負担を軽減し、ご歓迎いただける優待企画を実施することになりました。京都府内にお住まいのみなさんに広くご活用いただきたく、ご案内申し上げます。



2006年（平成18年）4月21日（7）

【対象】 京都府内在住の方

【優待内容】 点字図書を全額実費で購入される場合、点字本価格の7割で購入できます。これは、点字システム手帳、Good・洛、旅、L点字教材にも適用されます。

【優待期間】 2006年4月～2009年3月までの3年間。尚、可能な限り延長する予定です。

## ■2005年度「あい・らぶ・ふえあ」

### 盛会に終わる

2005年度「あい・らぶ・ふえあ」は、「～来てみて体験！ 見えない世界～」と題して今年1月19日から22日にかけて大丸京都店で開催され、延べ約2000人の来場者によって成功裏に終わりました。特に、「目の不自由な人も共にくらす明るい社会、盲導犬や白い杖で歩く」をテーマにした絵画コンテストには180点の応募があり、全数を会場内に貼り出しましたので、明るい雰囲気にも包まれ、多くの家族連れでにぎわいました。

ロービジョンの体験や手引、点字の体験コーナー、街のバリアフリーその他の展示コーナー、幅広く紹介したスポーツ紹介コーナー、そして盲導犬の話や生活体験、お箏の演奏のステージコーナーなどを設けました。成果としては、①視覚障害者福祉の推進と正しい理解の普及を図るために、府・市民啓発事業として取り組んだこと、②京都にある視覚障害者関係施設・団体・機関の職員及びボランティアサークルが手を携えて取り組んだこと、③視覚障害者と一般府・市民とのノーマライゼーションの場づくりとして各コーナーを通じて広範な理解の輪を広げることができたのではないかと思います。

ご参加いただきましたみなさま、そしてご協力いただいた多くのボランティアの方々、そして京都府・京都市をはじめ、多くの団体のご支援ご協力賜りましたことを感謝申し上げます。



## ■点訳中級講座（エーデル入門講座）

点字図書や点字教科書の点訳で図を描くことがたい

(8) 2006年(平成18年)4月21日  
へん多くなっています。

点図を描くソフトとしてエーデルがあります。少し勉強すればどなたでも図形が描ける使いやすいソフトです。今回、エーデルを使おうかな、と思われる方を対象にした入門講座を開催します。どうぞ、みなさんご参加下さい。

なお、すでにお使いの方を対象にした「エーデル中級講座」も追って開催する予定です。

入門講座の開催予定は次のとおりです。

日時 5月18日(木) 13:30~16:00 研修室2

6月1日(木) 13:30~16:00 研修室3

定員 20名(先着順)

詳しくは、情報製作センターまでお問い合わせ下さい。

## ■次の通り、異動と採用を 行いましたのでお知らせします。

### 退職

平成18年3月31日付

船岡寮 寮長 宮川哲夫

看護師 杉山ひで子

### 異動

平成18年4月1日付

船岡寮 寮長

伊藤康子(船岡寮主任)

情報製作センター 主任

渡辺昭一(情報製作センター)

訓練部・鳥居寮 主任

松崎雅子(訓練部・鳥居寮)

F S トモニー

富島俊枝(訓練部・鳥居寮)

### 採用

平成18年4月1日付

船岡寮 寮長補佐(管理嘱託) 宮川哲夫

看護師 松谷和子

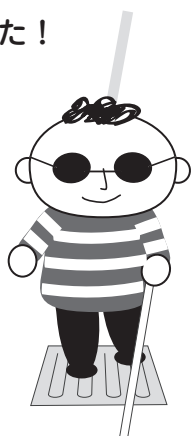
事務職 内海 緑

介護職 米田麻友子

## ■「らいとくん、募金を始めました！」

法人事務所のカウンターに募金箱が置いてあります。その箱の上で携帯ストラップ「らいとくん」が来館者の方をお出迎えしています。色は4種類あって、300円の募金をしていただくと、1個差し上げています。

これは、白杖安全デーのチラシに使っていたイメージキャラクターを携帯ストラップにしたもの



名称：らいとくん

京都ライトハウス通信 No.105

です。一般の方に、視覚障害者に親しみを感じてもらうと共に、視覚障害者の生活や交通安全に理解を深めていただくための人形です。

募金の収益は、法人の運営費に充てさせていただきます。お知り合いの方にも広めていただけたらと思っています。

## お れ い

### ■中澤眞佐様

12月3日、ライトハウス4階ホールにて、「八橋検校を偲ぶ会」と題して箏の調べを捧げる会を催され、多数の方をご招待いただきました。また、高額のご寄付を頂戴しました。ライトハウスの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■国際ソロプチミスト京都・みやこ様

歌や演奏などのX'masプレゼントとしてエンゼルフェスティバルに児童と家族40名のご招待をいただきました。

大変ありがとうございました。

### ■戸田貴士様

12月7日、高額のご寄付を頂戴しました。船岡寮のために活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■難波国栄様

12月7日、高額のご寄付を頂戴しました。ライトハウスの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■京都ウィメンズクラブ様

12月19日、多額のご寄付を頂戴しました。ライトハウスの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■聖母学院ハンドベルクワイヤ様

12月21日、第12回チャリティコンサートに2名のご招待をいただきました。

大変ありがとうございました。

### ■財団法人京都仏眼協会様

12月21日、多額のご寄付を頂戴しました。ライトハウスの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■京都アルファの会様

12月26日、多額のご寄付を頂戴しました。ライト



ハウスの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■株式会社エディックス様

1月26日、「らいとくん」人形を多数製作、寄贈していただきました。

ライトハウスのマスコットとして、また、「らいとくん」募金として、ライトハウスの運営資金に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■財団法人みずほ福祉助成財団様

2月3日、情報製作センターで使用する点字プリンター購入のため、多額の助成金を頂戴しました。視覚障害者の方にタイムリーな情報提供が出来るよう活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■紫竹ロータリークラブ様

2月5日、「京フィル夢いっぱいコンサート」に30名をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

### ■財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様

鳥居寮屋上防水改修及び外壁塗装改修工事のため、多額の助成金を頂戴しました。2月18日に工事完了し、雨漏りの心配がなくなり、外観も全面を塗り替えて、鳥居寮がみちがえるように綺麗になりました。

大変ありがとうございました。

### ■株式会社アイベル様

2月28日、高額のご寄付を頂戴しました。ライトハウス用具部及びF Sトモニーの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■梶 寿美子様

3月3日、「ひなまつりコンサート」を開催され、収益の一部をご寄贈いただきました。また、会場にてライトハウスのクッキーとチョコレートの販売にもご協力いただきました。

大変ありがとうございました。

### ■株式会社わかさ生活様

3月5日、「視覚障害者京都マラソン大会」に特別協賛として、多額の運営経費を助成していただき、又当日は多くの社員の方々にスタッフとして運営にご協力をいただきました。

わかさ生活様には、毎月定期的に多額のご寄付を頂いております。

ライトハウスの運営に活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

### ■光の音符様

3月11日、大阪フィルハーモニーの京都特別演奏会に、20名をご招待いただきました。

大変ありがとうございました。

ご寄付ご寄贈ありがとうございます！

次の通り、数々のご芳志をいただきました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

(50音順・敬称略)

2005年12月1日～2006年3月31日

寄付金 127件 7,875,856円

物品寄付・ご奉仕 178件

### 【寄付金】

アイフル、アイベル、浅山邦夫、麻生貞子、安倍隆文、池上和子、池側佳澄、池西照子、井村豊彦、植中成八、尾崎信之、小野健史、面谷祐三子、偕成社、梶宏、華頂短期大学、加藤博史、金原弘子、上京民生児童委員会、川口洋志、京視協上京支部、京セラ、京都Y M C A国際福祉専門学校、京都岩倉幡枝郵便局、京都ウイメンズクラブ、京都友の会、京都仏眼協会、京都アルファの会、京都医療福祉専門学校、京都オムロン地域協力基金、京都光華女子大学、京都市社会福祉協議会、京都府共同募金会、京都府社会福祉協議会、京都府立学校現業職員研究会、京都弁護士会、久保佳子、倉田時子、小伊藤直哉、久我の杜ボランティアサークル虹のメロディ、ザ・パレスサイドホテル、佐野眼科診療所、清水國弘、杉村美代子、鈴木さほ、鈴木春子、鈴木昌子、田代医院、田中武、田中康恵、崔春夫、中華料理千龍、張文玉、堤明子、鉄道弘済会西日本管理部、点訳サークル秋桜、同志社中学校、戸田貴士、中路眼科医院、仲島トシエ、中橋彌光、難波国栄、西口都志子、西村怜子、日本ライトハウス、日本基督教団平安教会、ノートルダム女子大学、野崎義久、花岡美容室、ハムスターズ、光の音符、ひまわり、藤田和代、前田修二、松浦木実、松崎小児科、宮木益子、宮地雅子、宮田進、弓削経夫、洛星中学・高等学校オーケストラ部、リンクの会、ローム、わかさ生活、ワコール女子陸上競技部選手一同、匿名(28件)

### 【物品寄付・ご奉仕】

相原光男、青山弘、浅田八重子、あすなる会、明日の友誌上ボランティア大阪友の会、安全交通試験研究セ

(10) 2006年(平成18年)4月21日

ンター、安藤泰蔵、安楽寺、生島芙美江、伊佐迪子、石田正美、磯岩美都枝、磯部治、一谷孝、一万年堂出版、伊藤治子、井上高行、井上ナツ子、岩瀬正美、岩本晃和、内田務、エディックス、江津久巳、大川勝三、大澤皮膚科医院、大谷八重子、大八木閨子、岡本タミ子、岡本久栄、奥村久子、奥山晴生、乙訓点訳サークル、小野和子、小野富夫、梶寿美子、梶宏、梶原清一、梶原テル、霞会館福祉事業委員会京都支部、勝山和男、勝山君子、加藤純、加藤紀江、蒲田良子、から竹師友会、川坂真也、河瀬須恵、川畑美重子、関西日仏学館、菊地升衛、北垣せつ子、北村真人、北村宗昭、木下幸子、木村芳子、京都産業大学新社会ボランティアサークル、京都水産協会、京都青果協会、京都パスファインダークラブ、京都市立楽只小学校、京都トヨタ自動車レクサス北大路、クサカ自動車、公益社、小中路子、近藤加奈子、サークルにじ、佐川せつ子、佐々江温子、塩野明絵、塩見章子、紫竹庵、柴田慶子、清水千恵子、志水政子、下條英子、朱常分店、白坂澄夫、鈴木さほ、鈴木昌子、鈴木光子、聖母学院中学高等学校吹奏楽部、聖母学院中学高等学校コーラス部、関房子、瀬戸内寂聴、惣塚多恵子、高田晃、高野嘉子、高橋信吾、高山アサ工、琢磨会、田中みゆき、田辺誠子、谷岡春美、谷川正雄、谷口敏、田村潔、つくしの会、辻謙一、津田信吾、点友会、戸田貴士、永井美知子、永井康代、中江利彦、中島田鶴、中島美津子、中田英子、中西恵美子、中西恒夫、中村健一、中村延子、西久保京子、西野美代子、西村ゆり、日清医療食品、野畑ヤスエ、野間起夫、橋本敏夫、長谷川きよ子、畑勇子、林田庄治、馬場康子、福島洋子、福田叡子、福見久代、福山和男、藤井綾子、藤田慧子、藤山和子、平成17年度あいあい教室卒園児一同、北條瀧枝、ホリプロ堀威夫、前田不二子、前中知栄、松浦恵里、松谷一恵、松本すみ子、美内輝子、三井住友海上火災保険、三菱製紙販売、三村敏子、宗形サメ子、森初子、森下徹、森本美也子、矢野慎輔、山下祐嘉里、山田弘子、山中良三、山本巖、山本貴巴子、山本紗英子、山本早苗、湯浅昭次、吉川繁、吉田善次、吉村隆、読売テレビ放送、朗読グループあいあい、和田恭子、渡辺榮子、渡辺国子、渡部隆三、匿名(5件)

京都ライトハウス通信 No.105

愛きもの、青山清子、青山弘、明石勝行、明石隆子、穴井利文、井口光子、石原ハル子、石村淑子、磯岩美都枝、稲田佳子、井上高行、井上嘉久、岩重ツヤ子、岩野キミ、上田勝、恵嶋幸子、大園比路子、太田勝己、太田進、大西信子、大西弘子、大野晃彦、大宮隆、大森亮二、岡田めぐみ、小田長、小野貞子、折田孝一、角屋睦、金居朝子、金居延子、亀井保幸、河合充裕、菊地寛子、木下幸子、京都教会女性会、國重阿夜子、久山眼科医院、黒須徳子、小西倫子、小森修子、澤信一、白石晴士、白石美寿寿、角喜代子、住谷高子、千保幸子、相愛幼稚園、高田亘、竹内文子、竹内鏡子、竹内花子、竹岡繁、竹上恵子、竹中良一、武部啓、田尻潤子、田中英三、田中汎子、谷川正雄、玉井義朗、対馬貞夫・辰巳恵美子、常田道子、出島泰子、富奥ケイ子、友田淳子、中江利彦、仲島トシエ、中塚宏子、長渡研史、中村哲、中村安男、西野佐知子、西村恵子、羽室洋子、林勝治、林田三郎、深尾綾子、福田真理、福見久代、藤木百合子、藤田敏、蔓弘、牧野伸三、松浦木実、松村稔子、道場恵美子、宮津ささご会大橋清子、三輪和子、宗久剛、村尾幸子、邨田志津子、村松徹也、弥永英一、山崎敬以子、山下久樹、山ノ内和美、山本フミ子、洛星中学・高等学校、洛星中学・高等学校オーケストラ部、匿名(3件)

## 編集後記

自立支援法が動き出し福祉のあり方が変化しつつあります。施設としても厳しい状況に追い込まれてきますがこれからも格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

<おわび>前号(104号)記事「ライトハウス探訪 こんなことしています!」のなかでこちらの手違いによりお名前に間違いがありました。訂正させていただきますと同時に深くお詫び申し上げます。

(誤)中江 敏彦様

(正)中江 利彦様

本当に申し訳ありませんでした。(K)

## 京都ライトハウス後援会より

次の通り、後援会費と運営資金寄付金を納入いただきました。会員の皆様のお名前を掲げ、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。(50音順・敬称略)

2005年12月1日～2006年3月31日

後援会費 77件 154,000円

運営資金寄付金 69件 636,620円

